

<p>基本計画 第1章 観光・交流（自然や景観などの観光スポット）</p>	<p>千軒地域は、自然・歴史・伝統文化・食と4拍子そろっており、町外から多くの観光客を呼べると考えるが、カントリーフェスティバルの会場を千軒地区に移し、行ってはどうか。</p>	<p>カントリーフェスティバルは、福島町観光協会が主催し、開催時期やイベント内容等を決定しており、ご意見の趣旨を観光協会に伝える。 なお、千軒地区の活性化に関しては、しっかりと支援していきます。</p>
<p>基本計画 第1章 観光・交流（観光施設）</p>	<p>横綱千代の山・千代の富士記念館、青函トンネル記念館は、新幹線開業により、今後本州方面から観光で訪れる人が増えると思われるが、工夫して通年営業すべきではないか。</p> <p>数年前に千軒地域活性化実行員会から福島町まちづくり基本条例に基づく第1号の提案のあった「千軒大吊り橋」建設に関する記載が無いのはいかがな理由か。 再度、組み入れる考えはあるのか。</p>	<p>両記念館は、冬期間の入館者が少ないことから、運営経費の軽減対策の一環として11月中旬から3月中旬の間は休館しているものです。冬期間に福島町の観光施設を訪れる方が大幅に増えることは想定しづらく、通年営業は困難と考えています。</p> <p>庁舎内でも事業化について検討を進めたが、事業費の確保や運営主体等の整理ができず、総合計画への事業登載を見送った経過がある。 千軒地域の活性化の中で多様な意見をいただき検討します。</p>
<p>基本計画 第2章 ごみ処理、リサイクル（ごみの収集、処理体制）</p>	<p>正月明けの収集日まで日数があるため、長期間、家に生ごみ等を保管することになり大変不衛生となることから、普段の収集日（曜日）と区別して、正月明けは燃やせるゴミを優先的に収集するようにできないか。</p>	<p>収集業者とも協議し、正月明けの収集日を早めることの検討をします。</p>
<p>基本計画 第2章 交通安全・防犯（交通安全）</p>	<p>道路照明のLED化については、各町内会で管理している街路灯も含めて欲しい。</p> <p>町内会で維持管理している街灯については、電気料の75%、新設の50%の補助となっているが、自立プラン前の補助率に戻してほしい。</p>	<p>各町内会で管理している街路灯のLED化については、町において平成29年度から平成31年度の3カ年で約750基を改修する計画に変更したいと考えています。</p> <p>各町内会が管理している街路灯のLED化を町が行うことで、町内会の電気料金負担額も軽減されることから、LED化による省エネ対策を優先し、電気料の補助率は現状の75%を維持することと考えています。</p>
<p>基本計画 第5章 広報・広聴、情報発信（広聴、意見の収集）</p>	<p>町では、各町内会で説明会を開き、役場や支所には各計画書（案）を用意しているが、高齢等により役場まで行くのが大変な方も多いため、各町内会館や班長の家に各計画書（案）を配布できないか。 また、公共施設等に意見箱を設置してはどうか。</p>	<p>パブリックコメントの手法については、ご意見を踏まえ、町内会連合会とも協議し今後の対応について検討します。 これまで、役場等に意見箱の設置を望む声はなかったが、新年度から設置する方向で検討します。</p>

【福島町人口ビジョン・総合戦略（案）に対する意見概要について】

区分	意見の概要	町の考え方
<p>第2章 総合戦略 基本目標1 産業の再生による雇用を創出し、次世代を担うリーダー等を育成する</p>	<p>福島商業高校での課題研究発表会において、ホテル観賞会のための緑化環境整備についての提案があるので、千軒地区の緑化環境整備をお願いしたい。 ホテルのエサとなるカワナやタニシの確保が必要であり、さらにタニシのエサとなるイタドリに関しても、今後の林道整備等の際には考慮していただきたい。</p>	<p>高校生からのご提案については、環境教育の面からも重要なことだと考えている。町としても、これまで千軒地区の自然観察会を開催するなど力を入れているところです。 一方、福島町の面積の大部分が山林で、木材の活用が大きな課題となっており、木材搬出用の林業専用道の整備延長は必要となっていますが、今後の事業実施にあたっては、自然に配慮した施工に努めるとともに、伐採後の緑化等についても検討していきたいと考えています。</p>
<p>第2章 総合戦略 基本目標4 町を訪れる人を増やし、交流や移住を促進する</p>	<p>北海道新幹線の開業に伴い、道南をさらに盛り上げるため、福島商業高校生徒の北海道産直フェアin代々木における販売実習参加を検討願いたい。</p>	<p>北海道産直フェアin代々木に、北海道福島会が毎年参加している経緯と現状も踏まえ、北海道福島会とも協議し、高校生の実習販売への参加に向けて調整を進めていきます。</p>